



▲ダイオウナスビ. 果期 ('10.12.23, 静岡県南伊豆町)

ダイオウナスビ [ナス科]

Solanum mauritianum Scop.

(E) woolly nightshade

ブラジル南東部原産の小高木で、胸高直径20cm、高さ10mに達する。枝や葉に有柄の星状毛が密生する。葉は互生、長さ15～45mmの柄があり、通常葉の葉身は楕円形で長さ10～20cm、幅5～9cm。葉腋に長さ10～15mmの小型の葉を多数着ける。枝先に円錐花序を着け、径1cmほどの青紫色花を着ける。ガクは星状毛を密生し、裂片は長さ5～6mmで鋭頭。花冠は5裂、青紫色で中央に白色の筋がある。雄しべは葯が合着する。果実は球形で径8～10mm、はじめ緑色でのちに黄色に熟す。種子は多数で長さ2～3mm。2003年頃に静岡県南伊豆町で野生化が確認され、2010年には周辺の複数の谷に広がっていた。
(勝山輝男)



▲ダイオウナスビ. 花 ('10.12.23, 静岡県南伊豆町)

[文献] 大西亘・勝山輝男, 2011. 植物研究雑誌 86: 253-255.